

大宜味村簡易水道事業

平成 31 年度 水質検査計画



津波浄水場

水道法 24 条の 2 により各水道事業体は毎年度前に水質検査計画を策定し、公表することが義務付けられております。水質検査は、水質基準に適合し、安全であることを保障するために不可欠であり、水質管理において中核をなすものです。

水質検査計画とは、水質検査の適正を確保するために、水質検査項目等を定めたものです。ここに大宜味村における平成 28 年度の水質検査計画を策定したので公表いたします。

水質検査計画の内容

1. 基本的な方針
2. 水道事業の概要
3. 水道の原水及び水道水の状況
4. 水質検査地点
5. 水質検査項目及び検査頻度
6. 臨時の水質検査
7. 水質検査方法
8. 水質検査計画及び検査結果の公表
9. 水質検査の精度と信頼性保証
10. 関係者との連携

1. 基本的な方針

水質検査には、水質基準に適合しているかどうかを判断するための検査と、原水から浄水処理、送・配水に至るまでの一連の水質管理の状況を確認するための検査があります。

水質検査計画は、水質基準への適合を確認するための水道法第 20 条に基づく水質検査について作成するものですが、原水等の水質検査や水質管理目標設定項目など水質基準以外の項目についても、その重要性から水質検査計画に位置づけて検査を行います。

(1) 検査地点

検査地点は、水質基準が適用される給水栓(蛇口)に加え、浄水場及び水源とします。

(2) 検査項目

水道法で検査が義務付けられている水質基準項目と水質管理上留意すべきとされている水質管理目標設定項目および本村が独自に行う項目とします。

(3) 検査頻度

- ① 水道法に基づく「毎日検査」及び「毎月検査」を給水末端の蛇口において行います。
- ② 給水末端の蛇口の水が良好で水質基準を満足している検査項目は、3 年に 1 回以上に検査頻度を緩和することが可能ですが、水質の安全性を確認するために、検査頻度を減らさず全項目検査を年 1 回行います。
- ③ 水質管理目標設定項目(26 項目)については、その中から必要な検査対象項目を選定して年 1 回行います。また、水質管理目標設定項目に含まれる農薬類(120 項目)については水源地域における使用状況等を勘案して必要な検査対象項目を選定して年 1 回行います。
- ④ 水源については、水質基準項目等について年 1 回行います。

2. 水道事業の概要

- (1) 本村は沖縄本島北部の西海岸に位置しており、東側は山岳地帯で総面積は約 63km²です。総面積のうち約 86% が山林原野となっています。
- (2) 本村の水道は、水源を村内南側に位置する平南川支流から取水して、津波浄水場で浄水処理したあと村内全域に給水します。
- (3) 配水系統については、給水地域の立地条件から津波配水池を中心にして、低区地域と高区地域に分けて給水しています。低区地域としては、上原配水池系と謝名城配水池系で高区地域としては江洲配水池系と押川配水池系となっています。
- (4) 平成 29 年度における給水状況は次表のとおりです

項目	内容
給水区域	村内全域
給水人口(人)	3,107
普及率(%)	99.9
給水戸数	1,910
計画一日最大給水量(m ³)	2,000
一日最大給水量(m ³)	1,776
一日平均給水量(m ³)	1,472

(5) 净水場の概要

本村には浄水場が 1ヶ所ありますが、その概要は次表のとおりです。

浄水場名	津波浄水場
所在地	大宜味村字津波 1550 番地
敷地面積(m ²)	2,880
原水の種類	①河川水(平南川支流) ②伏流水(浄水場内)
処理能力(m ³ /日)	2,060
浄水処理方法	緩速ろ過 後塩素処理
施設概要	沈殿池:3 池、ろ過池:7 池、浄水池:3 池、自家発電設備 遠方監視制御設備

3. 原水及び水道水の状況

(1) 原水の状況

- ① 水源の平南川は、東の津波山から西の宇橋山に至る山稜の麓を源流として東シナ海に注ぐ河川で 2 つの支流(平南川支流とアザカ川)を有しています。平南川の延長は約 6kmで集水面積は約 10km² です。
- ② 平南川上流域は主に山林に覆われていて、近くに牧場と養豚場があり降雨時には濁りや色度が高くなることがあります。しかし、本村が水源としている平南川支流の流域には人為的な開発は起こっていない状況です。また、取水方法は支流に堰を設けて導水管で浄水場まで導水しているので周辺流域からの汚染の心配はありません。
- ③ 伏流水の取水施設は浄水場敷地内に設置していて、主に需要水量が増大する時期の補助水源として位置付けています。しかし、この水源は平南川の水質の影響を受けやすいので特に降雨時には水質状況を把握して取水するようにしています。
- ④ 本村では大宜味村林野条例等により水源地の上流域を水質及び環境保全の立場から保安林として保護取締り等の規制をしております。
- ⑤ 水源の汚染要因及び水質管理上注目すべき項目は次表のとおりです。

水 源 名	種 類	水 源 の 汚 染 要 因	水 質 管 理 上 注 目 す べ き 項 目
平南川支流	河川	降雨時に高濁度の発生	濁度、色度
浅井戸	伏流水	〃	〃

(2) 水道水の状況

津波浄水場において、適正な浄水処理を行っており全給水地域において水質基準に適合した安全な水道水を給水しています。

4. 検査地点

(1) 給水末端について

水道法に基づく定期検査については、配水系統末端の 3ヶ所(蛇口)において行います。

(2) 水源について

水源水質の把握及び適切な浄水処理をするために、水源となっている平南川支流の取水地点及び伏流水の取水地点を検査地点としています。

(3) 検査地点総括表

分類	検査地点	
水源	① 平南川支流	② 伏流水(浄水場内)
給水末端	① 田嘉里公民館	② 喜如嘉山 ③ 江洲公民館

5. 水質検査項目と検査頻度

(1) 水質基準が適用される、給水末端(蛇口)における水質検査項目と検査頻度

① 毎日検査

法令に基づく3項目の検査(色、濁り、消毒の残留効果)を1日1回行います。(表2 P8)

② 毎月検査

水質基準51項目(表1 P7)の中からNo.1, 2, 38, 46~51までの9項目について、毎月検査を行います。

③ 年4回検査

水質基準51項目(表1 P7)の中からNo.10, 21~31の12項目は消毒剤および消毒副生成物として、No.33, 34, 39, 40の4項目は安全性及び性状確認のためとして合計16項目について年4回の検査を行います。

④ 年1回検査

水質基準51項目(表1 P7)のうち、その濃度が基準値の1/10以下の場合には3年に1回、(1/5以下の場合には1年に1回)まで検査頻度を緩和できるとされているが、水質が安定して良好であることを確認するため、検査頻度を減らさずに年1回、水質基準51項目の検査を行います。

(2) 本村が水質管理上独自に行う水質検査項目と検査頻度

① 原水水質の把握および浄水処理工程における適正な水質管理を行うために、水質基準51項目(表1 P7)の中から39項目について年1回の検査を行います。(消毒副生成物の11項目及び味を除く)

② 表3(P8)の水質管理目標設定項目(26項目)のうち、浄水および原水の検査項目の設定に関しては、厚生労働省健康局水道課長通知の第3「水質管理目標設定項目に係る留意事項について」(平成15年10月10日付)を参考にして以下のとおり年1回行います。また、従属栄養細菌については、浄水処理過程や消毒過程での細菌の挙動の評価、配水系における塩素の消失や水の滞留の状況の評価に活用するため、一般細菌と併せて年4回の検査を行います。

分類	浄水項目	原水項目	備考
給水末端3ヶ所	12	—	喜如嘉山、田嘉里公民館、江洲公民館
水源2ヶ所	—	9	平南川支流、伏流水(浄水場内)

③ 農薬類の検査については、地元JAから地域における農薬類の販売および使用状況を入手して、本村としては水源保全および影響把握の観点から水質管理目標設定項目の対象農薬リスト(120項目)の28項目及びその他農薬5項目の合計33項目の検査を原水2ヶ所について年1回行います。(表4 P9)

- ④ 「水道におけるクリプトスパロジウム等対策指針」(平成19年4月1日)に基づき、原水(平南川支流)の指標菌(大腸菌及び嫌気性芽胞菌)の検査を年4回行います。また、クリプトスパロジウム及びジアルジアの検査を原水で年1回、浄水3カ所でも安全確認のため年1回行います。その他、水質の安全性を確認するために、ダイオキシン類の検査を年1回行います。

6. 臨時の水質検査

水道水が水質基準に適合しない恐れがある次のような場合には、臨時の水質検査を行います。

- (1) 水源の水質が著しく悪化したとき
- (2) 水源に異常があったとき
- (3) 水源付近及び給水区域周辺において消化器系感染症が流行ったとき
- (4) 浄水過程に異常があったとき
- (5) 管路工事及びその他水道施設が著しく汚染された恐れがあるとき
- (6) その他、特に必要があると認めたとき

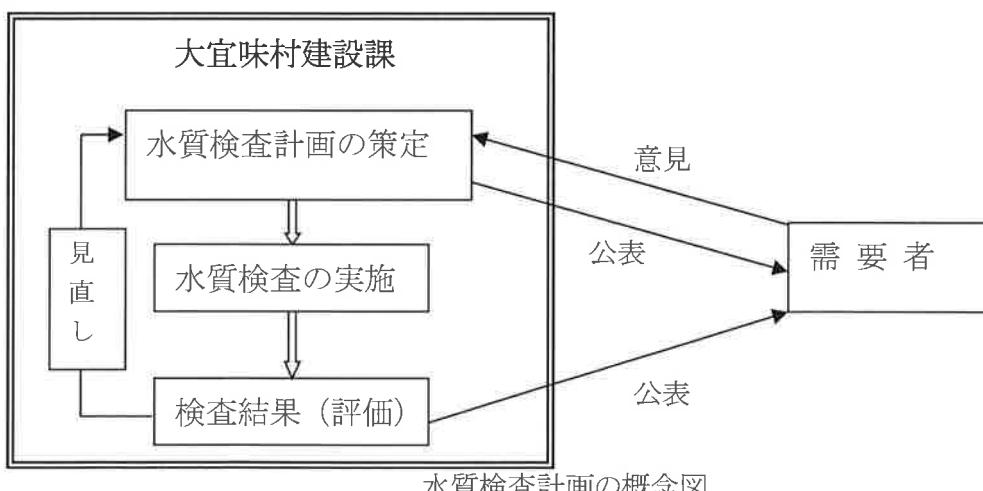
検査項目は水質基準51項目および水質管理目標設定項目などについて行います。

7. 水質検査方法

- (1) 法令に基づく毎日検査については、自己検査とします。
- (2) 法令に基づく毎月検査および水質基準項目、水質管理目標設定項目等の検査については、厚生労働大臣登録水質検査機関へ委託検査とします。
- (3) 水質基準項目等の検査方法については、国が定めた水道水の検査方法に基づいて行います。
その他の検査方法は、上水試験方法(日本水道協会)等に基づいて行います。

8. 水質検査計画及び水質検査結果の公表

- (1) 水質検査計画は毎年度作成し公表します。
- (2) 公表した水質検査計画に基づき水質検査を行い、その結果については、各区公民館への配布、本村の広報誌等を利用して速やかに公表します。
- (3) 次年度の水質検査計画の策定に当っては、本年度の検査結果を評価・見直しすると同時に需要者の皆様からのご意見、要望等を反映して水質検査計画を作成します。



9. 水質検査の精度と信頼保証

水質検査の実施に当っては、その精度管理と信頼性の保証が重要であることから、本村としては次のことについて留意して厚生労働大臣登録水質検査機関に委託することにしています。

(1) 精度管理の評価

- ① 基準値及び目標値の1/10の定量下限が得られ、基準値及び目標値の1/10付近の測定において、変動係数(CV)が金属類では10%以下、有機物では20%以下の水質検査が出来ること。
- ② 毎年、厚生労働省、沖縄県及び全国給水衛生検査協会が実施する外部精度管理において高い評価を得ていること。

(2) 検査体制の確認

- ① 経験豊富な分析技術者など人材が十分に確保されていること。
- ② 高度の分析機器が整備されていること。

(3) 信頼保証体制の確認

- ① ISOを取得していること。
- ② 特定計量証明事業者認定などを取得していること。
- ③ 信頼保証部門と水質検査部門に各責任者を配置して組織体制が十分に機能していること。

ISOとは、International Organization for Standardizationの略で国際標準化機構の意味。

ISO9001とは、品質保証及び顧客サービスに関する国際規格。

ISO14001とは、環境マネジメントに関する国際規格。

(4) 臨時の検査及び緊急時の検査体制

- ① 水質汚染事故等に対して即対応できる体制にあること。
- ② 検査結果の提出については、水質基準項目51項目については24時間以内に提出が可能であること。

(5) 水質管理、浄水処理及び水道施設全般の管理等について指導、助言が可能であること。

10. 関係者との連携

水道に関わる水質事故等が発生した場合には、関係課と情報交換を図りながら現場調査や水質検査等を行い、適切な措置を迅速に実施することにより常に安全な水道水の供給に努めます。

お問い合わせ先:大宜味村建設課

住 所 :〒905-1392

大宜味村字大兼久 157番地

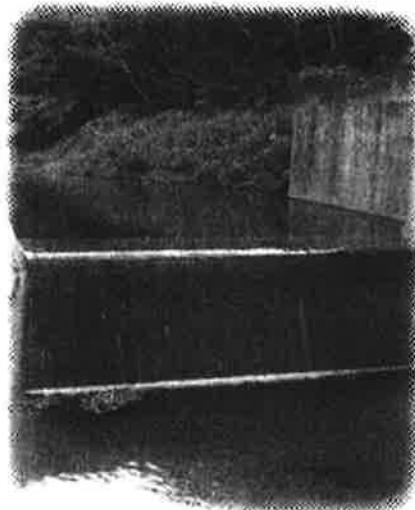
電 話 :0980-44-3280

FAX :0980-44-3999

大宜味村の水道施設概要



中央監視室



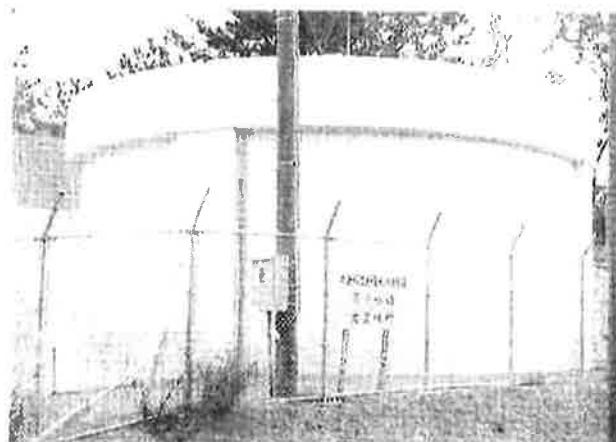
平南川支流の取水堰



上原増圧ポンプ場



謝名城増圧ポンプ場



上原配水池



江洲高架配水池

表1 基準項目(51項目)

項目名	水質基準値	検査方法
1 一般細菌	100個/ml以下	標準寒天培地法
2 大腸菌	検出されないこと	特定酵素基質培地法
3 カドミウム及びその化合物	0.003mg/l以下	ICP-MS法
4 水銀及びその化合物	0.0005mg/l以下	還元化-原子吸光光度法
5 セレン及びその化合物	0.01mg/l以下	ICP-MS法
6 鉛及びその化合物	0.01mg/l以下	ICP-MS法
7 ヒ素及びその化合物	0.01mg/l以下	ICP-MS法
8 六価クロム化合物	0.05mg/l以下	ICP-MS法
9 亜硝酸態窒素	0.04mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)法
10 シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01mg/l以下	イオンクロマトグラフ-ポストカラム吸光光度法
11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)法
12 フッ素及びその化合物	0.8mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)法
13 ホウ素及びその化合物	1.0mg/l以下	ICP-MS法
14 四塩化炭素	0.002mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
15 1,4-ジオキサン	0.05mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
16 シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
17 ジクロロメタン	0.02mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
18 テトラクロロエチレン	0.01mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
19 トリクロロエチレン	0.01mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
20 ベンゼン	0.01mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
21 塩素酸	0.06mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)法
22 クロロ酢酸	0.02mg/l以下	液体クロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法
23 クロロホルム	0.06mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
24 ジクロロ酢酸	0.03mg/l以下	液体クロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法
25 ジブロモクロロメタン	0.1mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
26 臭素酸	0.01mg/l以下	液体クロマトグラフ-質量分析法
27 総トリハロメタン	0.1mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
28 トリクロロ酢酸	0.03mg/l以下	液体クロマトグラフ-質量分析計による一斉分析法
29 ブロモジクロロメタン	0.03mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
30 ブロモホルム	0.09mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
31 ホルムアルデヒド	0.08mg/l以下	溶媒抽出-誘導体化-GC-MS法
32 亜鉛及びその化合物	1.0mg/l以下	ICP-MS法
33 アルミニウム及びその化合物	0.2mg/l以下	ICP-MS法
34 鉄及びその化合物	0.3mg/l以下	ICP-MS法
35 銅及びその化合物	1.0mg/l以下	ICP-MS法
36 ナトリウム及びその化合物	200mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陽イオン)法
37 マンガン及びその化合物	0.05mg/l以下	ICP-MS法
38 塩化物イオン	200mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陰イオン)法
39 カルシウム・マグネシウム等(硬度)	300mg/l以下	イオンクロマトグラフ(陽イオン)法、 イオンクロマトグラフ(陰イオン)法
40 蒸発残留物	500mg/l以下	重量法
41 陰イオン界面活性剤	0.2mg/l以下	固相抽出-HPLC法
42 ジエオスミン	0.00001mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
43 2-メチルイソボルネオール	0.00001mg/l以下	ページ・トラップ-GC-MS法
44 非イオン界面活性剤	0.02mg/l以下	固相抽出-吸光光度法
45 フェノール類	0.005mg/l以下	固相抽出-誘導体化-GC-MS法
46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3mg/l以下	全有機炭素計測定法
47 pH値	5.8以上8.6以下	ガラス電極法
48 味	異常でないこと	官能法
49 臭気	異常でないこと	官能法
50 色度	5度以下	透過光測定法
51 濁度	2度以下	透過光測定法、積分球式光電光度法

表2 法令に基づく毎日検査

1. 検査場所 : 給水末端の蛇口
2. 検査項目 : 3項目
3. 検査頻度 : 1日1回

	検査項目	評価	検査計画頻度
1	色	異常なし	365日/年
2	濁り	異常なし	〃
3	消毒の残留効果 (残留塩素)	0.1mg/L以上	〃

表3 水質管理目標設定項目

	水質管理目標設定項目	目標値 mg/L以下	原水		備考
			河川水	伏流水	
1	アンチモン及びその化合物	0.02	○	○	
2	ウラン及びその化合物	0.002 *	○	○	
3	ニッケル及びその化合物	0.02	—	—	資機材、薬品の観点から○
4	削除	削除	—	—	
5	1,2-ジクロロエタン	0.004	—	—	
6	削除	削除	—	—	
7	削除	削除	—	—	
8	トルエン	0.4	—	—	
9	フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)	0.08	○	○	○
10	亜塩素酸	0.6	—	—	塩素剤として使用していない
11	削除	削除	—	—	—
12	二酸化塩素	0.6	—	—	塩素剤として使用していない
13	ジクロロアセトニトリル	0.01 *	—	—	消毒副生成物等の観点から○
14	抱水クロラール	0.02 *	—	—	〃 〃
15	農薬類	**			検査項目は別表4に示す
16	残留塩素	1	—	—	毎日検査と重複する
17	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	10-100	—	—	基準項目検査と重複する
18	マンガン及びその化合物	0.01	—	—	〃 〃
19	遊離炭酸	20	○	○	○
20	1,1,1-トリクロロエタン	0.3	○	○	○
21	メチルセチルエーテル	0.02	—	—	
22	有機物(KMnO ₄ 消費量)	3	○	○	○
23	臭気強度(TON)	3TON	○	○	○
24	蒸発残留物	30-200	—	—	基準項目検査と重複する
25	濁度	1度	—	—	〃 〃
26	pH値	7.5程度	—	—	〃 〃
27	腐食性(ランゲリア指数)	-1~0	○	○	○
28	從属栄養細菌	2000個/ml *	○	○	○
29	1,1-ジクロロエチレン	0.1	—	—	
30	アルミニウム及びその化合物	0.1	—	—	基準項目検査と重複する
	検査項目合計		9	9	12 検査頻度 年1回 (從属栄養細菌のみ年4回)
	検査ヶ所		1	1	3

* : 暫定値

** : 各農薬の検出値と目標値との比の総和で1以下(単位なし)

○ : 検査対象項目

— : 検査対象から除外

表4 農薬類の検査項目

	農薬名	用途	目標値 mg/L	検査対象		検査頻度
				河川水・伏流水	2ヶ所	
1	イソキサチオン	殺虫剤	0.005	〃	年1回	
2	ダイアジノン	殺虫剤	0.003	〃	〃	
3	フェニトロンチオン(MEP)	殺虫剤	0.01	〃	〃	
4	クロロタロニル(TPN)	殺虫剤	0.05	〃	〃	
5	ジクロルボス(DDVP)	殺虫剤	0.008	〃	〃	
6	フェノブカルブ(BPMC)	殺虫剤	0.03	〃	〃	
7	アセフェート	殺虫剤	0.08	〃	〃	
8	トリクロルホン(DEP)	殺虫剤	0.005	〃	〃	
9	イプロジオン	殺菌剤	0.3	〃	〃	
10	キヤプタン	殺菌剤	0.3	〃	〃	
11	トルクロホスメチル	殺菌剤	0.2	〃	〃	
12	メタラキル	殺菌剤	0.06	〃	〃	
13	アシュラム	除草剤	0.9	〃	〃	
14	ベンデイメタリン	除草剤	0.1	〃	〃	
15	カルバリル(NAC)	殺虫剤	0.05	〃	〃	
16	メフェナセット	除草剤	0.02	〃	〃	
17	チオファネートメチル	殺菌剤	0.3	〃	〃	
18	メチダチオン(DMTP)	殺虫剤	0.004	〃	〃	
19	プロシミドン	殺菌剤	0.09	〃	〃	
20	ジメトエート	殺虫剤	0.05	〃	〃	
21	ジクワット	除草剤	0.005	〃	〃	
22	エトフエンプロックス	殺虫剤	0.08	〃	〃	
23	グリホサート	除草剤	2	〃	〃	
24	マラチオン(マラソン)	殺虫剤	0.7	〃	〃	
25	メゾミル	殺虫剤	0.03	〃	〃	
26	ベノミル	殺菌剤	0.02	〃	〃	
27	ベンフラカルブ	殺虫剤	0.04	〃	〃	
28	ジスルホトン(エチルチオメトン)	殺虫剤	0.004	〃	〃	
29	ビフェノックス	除草剤	0.2	〃	〃	
30	ベンスルフロンメチル	除草剤	0.4	〃	〃	
31	イミノクタジン	殺菌剤	0.006	〃	〃	
32	ホセチル	殺菌剤	2	〃	〃	
33	トリフルラリン	除草剤	0.06	〃	〃	

表5 その他、本村が水質管理上必要とする検査項目

	検査項目	原水		浄水	検査頻度	検査場所
		河川水	伏流水			
1	大腸菌	○	○	—	年4回	平南川支流 浄水場内
2	嫌気性芽胞菌	○	○	—	年4回	平南川支流 浄水場内
3	クリプトスポリジウム ジアルジア	○	○	—	年1回	平南川支流 浄水場内
		—	—	○	年1回	浄水3地点
4	ダイオキシン類	—	—	○	年1回	浄水場1ヶ所

シートG (水質検査結果における実施頻度の決定)

03-000034-0034 大宜味村 田嘉里公民館

番号	定期検査項目	省略可否	基本検査頻度	省略可能頻度	実施検査頻度	設定理由	
基1	一般細菌	×	1回/月	1回/月	1回/月	省略不可項目	
基2	大腸菌	×	1回/月	1回/月			
基3	カドミウム及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年			
基4	水銀及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年			
基5	セレン及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年			
基6	鉛及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、安全確認等のため	
基7	ヒ素及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年			
基8	六価クロム化合物	○	1回/3月	1回/3年			
基9	亜硝酸態窒素	○	1回/3月	1回/3年			
基10	シアノ化物イオン及び塩化シアン	×	1回/3月	1回/4月	1回/3月	省略不可項目	
基11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	○	1回/3月	1回/3年			
基12	フッ素及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年			
基13	ホウ素及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年			
基14	四塩化炭素	○	1回/3月	1回/3年			
基15	1,4-ジオキサン	○	1回/3月	1回/3年			
基16	シス-1,3-ジクロロエチレン及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、安全確認等のため	
基17	ジクロロメタン	○	1回/3月	1回/3年			
基18	テトラクロロエチレン	○	1回/3月	1回/3年			
基19	トリクロロエチレン	○	1回/3月	1回/3年			
基20	ベンゼン	○	1回/3月	1回/3年			
基21	塩素酸	×	1回/3月	1回/3月			
基22	クロロ酢酸	×	1回/3月	1回/3月			
基23	クロロホルム	×	1回/3月	1回/3月			
基24	ジクロロ酢酸	×	1回/3月	1回/3月			
基25	ジブロモクロロメタン	×	1回/3月	1回/3月			
基26	臭素酸	○	1回/3月	1回/3年	1回/3月	省略不可項目	
基27	総トリハロメタン	×	1回/3月	1回/3月			
基28	トリクロロ酢酸	×	1回/3月	1回/3月			
基29	プロモジクロロメタン	×	1回/3月	1回/3月			
基30	プロモホルム	×	1回/3月	1回/3月			
基31	ホルムアルデヒド	×	1回/3月	1回/3月			
基32	亜鉛及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため	
基33	アルミニウム及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため	
基34	鉄及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/3月	過去の検査結果が基準値の1/2以下であるが、性状確認等のため	
基35	銅及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため	
基36	ナトリウム及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/以下であるが、性状確認等のため	
基37	マンガン及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため	
基38	塩化物イオン	×	1回/月	1回/月	1回/月	省略不可項目	
基39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	○	1回/3月	1回/3年	1回/3月	過去の検査結果が基準値の1/5以下であるが、性状確認等のため	
基40	蒸発残留物	○	1回/3月	1回/3年		過去の検査結果が基準値の1/2以下であるが、性状確認等のため	
基41	陰イオン界面活性剤	○	1回/3月	1回/3年			
基42	ジエオスミン	○	原因菌類発生時期に月に1回以上		1回/3年		
基43	2-メチルイソボルネオール	○	原因菌類発生時期に月に1回以上		1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基44	非イオン界面活性剤	○	1回/3月	1回/3年			
基45	フェノール類	○	1回/3月	1回/3年			
基46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	×	1回/月	1回/月			
基47	pH値	×	1回/月	1回/月			
基48	味	×	1回/月	1回/月	1回/月	1回/月	省略不可項目
基49	臭気	×	1回/月	1回/月			
基50	色度	×	1回/月	1回/月			
基51	濁度	×	1回/月	1回/月			
毎1	色	×	1回/日	1回/日			
毎2	濁り	×	1回/日	1回/日	1回/日	省略不可項目	
毎3	消毒の残留塩素	×	1回/日	1回/日			

シートH (浄水の水質状況) 03-900034-0034 大宮駅前 田裏里公民館

備考

①過去3年間とは平成27年度から平成29年度のこととし、基準値との比較は○印で示す。

②過去とは平成21年度から平成29年度のことと、基準値との比較は□印で示す。

③基2の「大蔵菌」とあるのは、平成15年度までは「大蔵薦群」のことである。

④基42及び基43の基準値は平成19年3月31日までの間は「 $0.00002\text{mg}/\text{L}$ 」以下である

⑤基44の定義下限値は平成23年度まで1/5、1/10の判断ができない

⑤基4A、基4Bの(1)及び(2)の数字は箇数回数である。

⑦基46、基49の(ア)及び最大値の数字は異常回数である。

④基準値は平成20年3月31日までの間は「 6mg/L 」以下である。

⑥基3の基準値は平成21年3月31日までの間は「0.01mg/L」以下である。

シートG (水質検査結果における実施頻度の決定)

03-000034-0039 大宜味村 喜如臺山

番号	定期検査項目	省略可否	基本検査頻度	省略可能頻度	実施検査頻度	設定理由
基1	一般細菌	×	1回/月	1回/月	1回/月	省略不可項目
基2	大腸菌	×	1回/月	1回/月	1回/月	
基3	カドミウム及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基4	水銀及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基5	セレン及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基6	鉛及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、安全確認等のため
基7	ヒ素及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基8	六価クロム化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基9	亜硝酸態窒素	○	1回/3月	1回/3年		
基10	シアノ化物イオン及び塩化シアン	×	1回/3月	1回/3月	1回/3月	省略不可項目
基11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	○	1回/3月	1回/3年		
基12	フッ素及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基13	ホウ素及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基14	四塩化炭素	○	1回/3月	1回/3年		
基15	1,4-ジオキサン	○	1回/3月	1回/3年		
基16	シス-1,2-ジクロロエチレン 及びトランス-1,2-ジクロロエチレン	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、安全確認等のため
基17	ジクロロメタン	○	1回/3月	1回/3年		
基18	テトラクロロエチレン	○	1回/3月	1回/3年		
基19	トリクロロエチレン	○	1回/3月	1回/3年		
基20	ベンゼン	○	1回/3月	1回/3年		
基21	塩素酸	×	1回/3月	1回/3月		
基22	クロロ酢酸	×	1回/3月	1回/3月		
基23	クロロホルム	×	1回/3月	1回/3月		
基24	ジクロロ酢酸	×	1回/3月	1回/3月		
基25	ジブロモクロロメタン	×	1回/3月	1回/3月		
基26	臭素酸	○	1回/3月	1回/3年	1回/3月	省略不可項目
基27	鈴トリハロメタン	×	1回/3月	1回/3月		
基28	トリクロロ酢酸	×	1回/3月	1回/3月		
基29	プロモジクロロメタン	×	1回/3月	1回/3月		
基30	プロモホルム	×	1回/3月	1回/3月		
基31	ホルムアルデヒド	×	1回/3月	1回/3月		
基32	亜鉛及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基33	アルミニウム及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/3月	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基34	銅及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/3月	過去の検査結果が基準値の1/5以下であるが、性状確認等のため
基35	錫及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基36	ナトリウム及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/5以下であるが、性状確認等のため
基37	マンガン及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基38	塩化物イオン	×	1回/月	1回/月	1回/月	省略不可項目
基39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	○	1回/3月	1回/3年	1回/3月	過去の検査結果が基準値の1/2以下であるが、性状確認等のため
基40	蒸発残留物	○	1回/3月	1回/3年	1回/3月	過去の検査結果が基準値の1/2以下であるが、性状確認等のため
基41	陰イオン界面活性剤	○	1回/3月	1回/3年		
基42	ジエオスミン	○	原因菌類発生時期に 月に1回以上	1回/3年		
基43	2-メチルイソポルネオール	○	原因菌類発生時期に 月に1回以上	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基44	非イオン界面活性剤	○	1回/3月	1回/3年		
基45	フェノール類	○	1回/3月	1回/3年		
基46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	×	1回/月	1回/月		
基47	pH値	×	1回/月	1回/月		
基48	味	×	1回/月	1回/月	1回/月	省略不可項目
基49	臭気	×	1回/月	1回/月		
基50	色度	×	1回/月	1回/月		
基51	濁度	×	1回/月	1回/月		
毎1	色	×	1回/日	1回/日		
毎2	濁り	×	1回/日	1回/日	1回/日	省略不可項目
毎3	消毒の残留塩素	×	1回/日	1回/日		

番号	定期検査項目	基準値 (mg/L)	H21年度 H22年度 H23年度 H24年度 H25年度 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度										過去3年 最大値	過去 最大値	基準値との比較					判定
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15			
基1 一般細菌		100	2	-1	3	4	0	0	6	0	0	4	○	□					適合	
基2 大腸菌	不検出	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							適合	
基3 カドミウム及びその化合物	0.003	<0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□					適合	
基4 水銀及びその化合物	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	○	□					適合	
基5 セレン及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□					適合	
基6 鉛及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□					適合	
基7 ヒ素及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□					適合	
基8 六価クロム化合物	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○	□					適合	
基9 銀試験結果	0.04												○	□					適合	
基10 シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□					適合	
基11 調節試薬及び塩硝酸鉄試薬	10	0.18	0.20	0.21	0.21	0.17	0.22	0.16	0.13	0.26	0.26	0.26	○	□					適合	
基12 フッ素及びその化合物	0.8	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	○	□					適合	
基13 ホウ素及びその化合物	1	<0.02	<0.018	<0.018	<0.021	<0.020	<0.017	<0.021	<0.020	<0.018	<0.021	<0.022	○	□					適合	
基14 四塩化炭素	0.002	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□					適合	
基15 1,4-ジオキサン	0.05	<0.008	<0.008	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○	□					適合	
基16 レンジ-1,2-ジクロロエチレン&U+トランジ-1,2-ジクロロエチレン	0.04	<0.002	<0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□					適合	
基17 ジクロロメタン	0.02	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□					適合	
基18 テトラクロロエチレン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□					適合	
基19 トリクロロエチレン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□					適合	
基20 ベンゼン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□					適合	
基21 塩素量	0.6	0.70	0.41	0.27	0.53	0.19	0.39	0.45	0.17	0.18	0.45	0.20	○	□					適合	
基22 2,4-二硝酸	0.03	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○	□					適合	
基23 2,4-二硝酸	0.05	<0.002	<0.003	<0.003	<0.001	<0.010	<0.014	<0.013	<0.014	<0.016	<0.016	<0.013	○	□					適合	
基24 ジクロロ酢酸	0.03	<0.001	<0.002	<0.004	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○	□					適合	
基25 ジブロモクロロメタン	0.1	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	○	□					適合	
基26 焼魚量	0.01	0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□					適合	
基27 亜硝リバロメタノン	0.1	0.051	0.048	0.058	0.041	0.037	0.048	0.047	0.048	0.048	0.055	0.051	○	□					適合	
基28 トリクロロ酢酸	0.03	0.003	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	○	□					適合	
基29 プロモジクロロメタン	0.03	0.014	0.011	0.013	0.011	0.008	0.009	0.009	0.009	0.009	0.011	0.014	○	□					適合	
基30 プロモカルム	0.08	0.018	0.018	0.012	0.024	0.022	0.020	0.018	0.018	0.012	0.018	0.024	○	□					適合	
基31 ブルムルアルデヒド	0.08	0.002	0.002	0.002	0.003	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.003	0.003	○	□					適合	
基32 鉄粉及びその化合物	1	0.005	0.014	0.006	0.005	0.008	0.010	0.005	0.005	0.006	0.006	0.014	○	□					適合	
基33 アルミニウム及びその化合物	0.2	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○	□					適合	
基34 鉄及びその化合物	0.3	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	○	□					適合	
基35 鉛及びその化合物	1	<0.02	0.003	0.003	0.003	0.003	0.004	0.003	0.003	0.003	0.004	0.004	○	□					適合	
基36 ナトリウム及びその化合物	200	18.9	18.5	19.8	20.3	20.8	20.8	21.3	20.5	18.2	21.3	21.3	○	□					適合	
基37 マンガン及びその化合物	0.05	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□					適合	
基38 塩化物イオン	200	29.7	29.8	29.5	29.3	31.6	29.2	31.6	29.2	29.2	31.8	31.6	○	□					適合	
基39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300	67.4	61.2	54.8	58.5	60.0	59.9	50.1	59.4	64.9	59.4	61.2	○	□					適合	
基40 萬発度留物	500	138	132	142	142	148	138	138	138	155	155	155	○	□					適合	
基41 鹽イオン界面活性剤	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	○	□					適合	
基42 ジエオスマシン	0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	○	□					適合	
基43 2-メチルイソブチルキオール	0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	○	□					適合	
基44 非イオン界面活性剤	0.02	<0.005	<0.005	<0.005	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○	□					適合	
基45 フィーナル類	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	○	□					適合	
基46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	○	□					適合	
基47 pH値	5.5~6.5	7.9	7.8	7.3	7.8	7.1	7.3	7.6	7.7	7.7	7.7	7.9							適合	
基48 比重																			適合	
基49 密度																			適合	
基50 色度	5	1.2	0.8	0.5	0.8	1.0	0.7	0.8	0.8	1.0	1.0	1.2	○	□					適合	
基51 濃度	2	0.1	0.2	0.1	0.3	0.7	0.1	(D)	0.1	0.2	0.2	0.1	○	□					適合	
毎1 色																			適合	
毎2 濃度																			適合	
毎3 濃度の異常度																			適合	

備考

- ①過去3年とは平成27年度から平成29年度のことと、基準値との比較は○印で示す。
- ②過去とは平成21年度から平成29年度のことと、基準値との比較は□印で示す。
- ③基2の「大腸菌」とあるのは、平成16年度までは「大腸菌群」のことである。
- ④基42及び基43の基準値は平成19年3月31日までの間は「0.0002mg/L」以下である。
- ⑤基44の定量下限値は平成23年度まで「1/6、1/10の判断ができる」。
- ⑥基48、基49の()及び最大値の数字は異常回数である。
- ⑦基46の基準値は平成20年3月31日までの間は「5mg/L」以下である。
- ⑧基3の基準値は平成21年3月31日までの間は「0.01mg/L」以下である。

シートG (水質検査結果における実施頻度の決定)

03-000034-0040 大宜味村 江洲地区

番号	定期検査項目	省略可否	基本検査頻度	省略可能頻度	実施検査頻度	設定理由
基1	一般細菌	×	1回/月	1回/月	1回/月	
基2	大腸菌	×	1回/月	1回/月	1回/月	省略不可項目
基3	カドミウム及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基4	水銀及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基5	セレン及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基6	鉛及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、安全確認等のため
基7	ヒ素及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基8	六価クロム化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基9	亜硝酸態窒素	○	1回/3月	1回/3年		
基10	シアノ化物イオン及び塩化シアノ	×	1回/3月	1回/3月	1回/3月	省略不可項目
基11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	○	1回/3月	1回/1年		
基12	フッ素及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基13	ホウ素及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		
基14	四塩化炭素	○	1回/3月	1回/3年		
基15	1,4-ジオキサン	○	1回/3月	1回/3年		
基16	シス-1,2-ジクロロエチレン 及びランス-1,2-ジクロロエチレン	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、安全確認等のため
基17	ジクロロメタン	○	1回/3月	1回/3年		
基18	テトラクロロエチレン	○	1回/3月	1回/3年		
基19	トリクロロエチレン	○	1回/3月	1回/3年		
基20	ベンゼン	○	1回/3月	1回/3年		
基21	塩素酸	×	1回/3月	1回/3月		
基22	クロロ酢酸	×	1回/3月	1回/3月		
基23	クロロホルム	×	1回/3月	1回/3月		
基24	ジクロロ酢酸	×	1回/3月	1回/3月		
基25	ジブロモクロロメタン	×	1回/3月	1回/3月		
基26	臭素酸	○	1回/3月	1回/3年	1回/3月	省略不可項目
基27	絶トリハロメタン	×	1回/3月	1回/3月		
基28	トリクロロ酢酸	×	1回/3月	1回/3月		
基29	ブロモジクロロメタン	×	1回/3月	1回/3月		
基30	ブロモホルム	×	1回/3月	1回/3月		
基31	ホルムアルデヒド	×	1回/3月	1回/3月		
基32	亜鉛及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基33	アルミニウム及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基34	鉄及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基35	銅及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基36	ナトリウム及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/5以下であるが、性状確認等のため
基37	マンガン及びその化合物	○	1回/3月	1回/3年		過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基38	塩化物イオン	×	1回/月	1回/月	1回/月	省略不可項目
基39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)	○	1回/3月	1回/3年		過去の検査結果が基準値の1/2以下であるが、性状確認等のため
基40	蒸発残留物	○	1回/3月	1回/3年		過去の検査結果が基準値の1/2以下であるが、性状確認等のため
基41	陰イオン界面活性剤	○	1回/3月	1回/3年		
基42	ジオスミン	○	原因藻類発生時期に 月に1回以上	1回/3年		
基43	2-メチルイソボルネオール	○	原因藻類発生時期に 月に1回以上	1回/3年	1回/年	過去の検査結果が基準値の1/10以下であるが、性状確認等のため
基44	非イオン界面活性剤	○	1回/3月	1回/3年		
基45	フェノール類	○	1回/3月	1回/3年		
基46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	×	1回/月	1回/月		
基47	pH値	×	1回/月	1回/月		
基48	味	×	1回/月	1回/月	1回/月	省略不可項目
基49	臭気	×	1回/月	1回/月		
基50	色度	×	1回/月	1回/月		
基51	濁度	×	1回/月	1回/月		
毎1	色	×	1回/日	1回/日		
毎2	渦り	×	1回/日	1回/日	1回/日	省略不可項目
毎3	消毒の残留塩素	×	1回/日	1回/日		

番号	定期検査項目	基準値 (mg/L)	過去3年 最大値								過去 1/10 以下	過去 1/5 以下	基準値との比較 1/2 以下	基準値との比較 1/2 以上	基準値との比較 1/10 以上	判定	
			H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度							
基1 一般細菌	100	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	○	□				適合
基2 大腸菌	不検出	-	-	-	-	-	-	-	-	-							適合
基3 カドミウム及びその化合物	0.003	<0.001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□				適合
基4 水銀及びその化合物	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	○	□				適合
基5 セレン及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□				適合
基6 鉛及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□				適合
基7 ヒ素及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□				適合
基8 六価クロム化合物	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○	□				適合
基9 味精類	0.04											○	□				適合
基10 シラン化合物及び複合化シラン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□				適合
基11 フッ素系及び亜硫酸酸化物	10	0.14	0.18	0.19	0.18	0.18	0.17	0.23	0.18	0.24	0.24	○	□				適合
基12 フッ素及びその化合物	0.8	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	○	□				適合
基13 ホウ素及びその化合物	1	0.019	0.018	0.018	0.021	0.020	0.017	0.021	0.020	0.019	0.021	○	□				適合
基14 四塩化炭素	0.002	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□				適合
基15 1,4-ジオキサン	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○	□				適合
基16 シス-1,2-ジクロロエチレン及びトラン-1,2-ジクロロエチレン	0.04	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○	□				適合
基17 ジクロロメタン	0.02	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□				適合
基18 テトラクロロエチレン	0.01	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□				適合
基19 トリクロロエチレン	0.01	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□				適合
基20 ベンゼン	0.01	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□				適合
基21 硫酸	0.6	0.20	0.18	0.09	0.22	0.19	0.24	0.25	0.19	0.18	0.25	○	□				適合
基22 クロロ酢酸	0.02	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○	□				適合
基23 クロロホルム	0.08	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○	□				適合
基24 クロロ酢酸	0.01	<0.002	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○	□				適合
基25 シクロモニクロロメタン	0.1	0.025	0.018	0.018	0.018	0.018	0.018	0.018	0.018	0.018	0.018	○	□				適合
基26 異臭酸	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□				適合
基27 硫化ドリハロメタン	0.1	0.018	0.031	0.025	0.014	0.037	0.037	0.042	0.028	0.018	0.040	○	□				適合
基28 ハロクロロ酢酸	0.03	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○	□				適合
基29 ブロモクロロメタン	0.03	0.008	0.028	0.017	0.007	0.005	0.004	0.008	0.009	0.004	0.004	○	□				適合
基30 ブロモホルム	0.09	0.011	0.004	0.024	0.014	0.012	0.013	0.008	0.007	0.009	0.010	○	□				適合
基31 ブルムアルデヒド	0.09	0.003	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.003	0.003	○	□				適合
基32 豊船及びその化合物	1	0.011	0.018	0.014	0.008	0.011	0.012	0.015	0.015	0.011	0.015	○	□				適合
基33 アルミニウム及びその化合物	0.2	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○	□				適合
基34 銀及びその化合物	0.3	<0.03	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	○	□				適合
基35 鋼及びその化合物	1	0.002	0.004	0.005	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	○	□				適合
基36 ナトリウム及びその化合物	200	18.9	18.6	19.8	19.7	20.8	19.6	21.9	18.8	18.4	21.9	○	□				適合
基37 マンガン及びその化合物	0.05	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□				適合
基38 硫化物イオン	200	28.8	28.2	30.7	27.6	29.5	31.3	31.2	29.5	31.2	32.8	○	□				適合
基39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300	53.6	60.6	53.3	37.0	48.8	63.0	61.8	84.8	53.2	61.8	○	□				適合
基40 萬発性物質	500	129	128	158	129	141	135	143	141	133	143	○	□				適合
基41 隣イオン界面活性剤	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	○	□				適合
基42 ジエオスミン	0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	○	□				適合
基43 2-メチルイソバーペンオール	0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	○	□				適合
基44 非イオン界面活性剤	0.02	<0.005	<0.005	<0.005	<0.002	<0.002	<0.002	<0.003	<0.002	<0.002	<0.002	○	□				適合
基45 フェノール類	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	○	□				適合
基46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	3	0.3	0.2	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	○	□				適合
基47 pH値	5.8~8.6	7.7	7.5	7.5	7.6	7.5	7.4	7.6	7.6	7.5	7.6	○	□				適合
基48 鮮度	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	○	□				適合
基49 臭気	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	○	□				適合
基50 目視	5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5	0.5	○	□				適合
基51 湿度	4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	○	□				適合
基52 色	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	○	□				適合
基53 清潔	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	○	□				適合

備考

①過去3年間とは平成27年度から平成29年度のことと、基準値との比較は○印で示す。

②過去とは平成21年度から平成29年度のことと、基準値との比較は□印で示す。

③基2の「大腸菌」とあるのは、平成16年度までは「大腸菌群」のことである。

④基42及び基43の基準値は平成19年3月31日までの間は「0.00002mg/L」以下である。

⑤基44の定量下限値は平成23年度まで「1/5、1/10の判断ができる」。

⑥基48、基49の()及び最大値の数字は異常回数である。

⑦基46の基準値は平成20年3月31日までの間は「5mg/L」以下である。

⑧基3の基準値は平成21年3月31日までの間は「0.01mg/L」以下である。

番号	定期検査項目	基準値 (mg/L)	H21年度 H22年度 H23年度 H24年度 H25年度 H26年度 H27年度 H28年度 H29年度								過去3年 最大値	過去 最大値	基準値との比較						
			H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H29	1/10 以下	1/5 以下	1/2 以下	1/2 以上	7/10 以上	1以上	
基1 一般細胞		100	50	14	11	6	2	4	15	450	19	450	450						○ □
基2 大腸菌	不検出	+	-	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-						
基3 カドミウム及びその化合物	0.003	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□			
基4 水銀及びその化合物	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0003	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	○	□			
基5 セレン及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□			
基6 鉛及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□			
基7 ヒ素及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□			
基8 六価クロム化合物	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○	□			
基9 亜硝酸態窒素	0.04									<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	○	□			
基10 シアン化物イオン及び塩化シアン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□			
基11 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	10	0.24	0.25	0.30	0.33	0.28	0.30	0.28	0.09	0.36	0.38	0.36	0.36	0.36	○	□			
基12 フッ素及びその化合物	0.8	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	○	□			
基13 ホウ素及びその化合物	1	0.021	0.016	0.019	0.021	0.021	0.019	0.021	0.018	0.019	0.021	0.021	0.021	0.021	○	□			
基14 四塩化炭素	0.002	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□			
基15 1,4-ジオキサン	0.65	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○	□			
基16 シス-1,4-ジクロロエチレン及びトランス-1,4-ジクロロエチレン	0.04	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□			
基17 ジクロロメタン	0.02	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□			
基18 テトラクロロエチレン	0.01	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□			
基19 トリクロロエチレン	0.01	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□			
基20 ベンゼン	0.01	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○	□			
基21 塩素	0.6																		
基22 クロロ前駆	0.02																		
基23 クロロホルム	0.06																		
基24 ジクロロ酢酸	0.03																		
基25 ジクロロメタン	0.1																		
基26 異臭説	0.01																		
基27 4-トリハロメタン	0.1																		
基28 トリクロロ酢酸	0.03																		
基29 プロモクロロメタン	0.03																		
基30 プロモルム	0.02																		
基31 ホルムアルデヒド	0.08																		
基32 亜鉛及びその化合物	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○	□			
基33 アルミニウム及びその化合物	0.2	0.009	0.013	0.008	0.006	0.005	0.006	0.005	0.005	0.021	0.005	0.021	0.021	0.021	○	□			
基34 鉄及びその化合物	0.3	<0.03	<0.03	<0.03	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	0.04	0.04	0.04	○	□			
基35 銅及びその化合物	1	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□			
基36 ナトリウム及びその化合物	200	18.2	18.2	18.7	17.8	18.8	18.3	18.3	20.8	18.5	18.1	20.8	20.5	20.5	○	□			
基37 マンガン及びその化合物	0.05	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○	□			
基38 塩化物イオン	200	24.9	23.6	20.0	24.6	23.9	23.7	22.4	28.5	17.8	24.4	20.7	20.7	20.7	○	□			
基39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300	67.3	57.0	63.8	54.9	53.6	61.8	74.8	22.2	53.8	74.8	74.8	74.8	74.8	○	□			
基40 薬剤残留物	500	128	122	140	116	139	132	148	114	126	148	148	148	148	○	□			
基41 電離子界面活性剤	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	○	□			
基42 ジオスマシン	0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	○	□			
基43 2-メチルインボルネオール	0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00002	<0.00002	<0.00002	<0.00002	<0.00002	○	□			
基44 非イオン界面活性剤	0.02	<0.005	<0.005	<0.005	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○	□			
基45 フェノール類	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	○	□			
基46 有機物(合算揮発性炭素量)	3	0.2	0.7	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	○	□			
基47 pH値	5.8~8.6	7.5	7.3	7.2	7.2	7.3	7.2	7.4	7.2	7.1	7.4	7.3	7.3	7.3	○	□			
基48 色	異常でない	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	○	□			
基49 臭気	異常でない	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	○	□			
基50 色度	5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	○	□			
基51 濃度	2	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	○	□			
基52 漂り																			
基3: 汚泥の残留項目																			
有機物等(総マンガン酸カルシウム消費量)	10																		
硬質性溶解度																			
嫌氣性芽胞菌																			

備考

①過去3年間とは平成27年度から平成29年度のことと、基準値との比較は○印で示す。

②過去とは平成21年度から平成29年度のことと、基準値との比較は□印で示す。

③基2の「大腸菌」とあるのは、平成15年度までは「大腸菌群」のことである。

④基42及び基43の基準値は平成19年3月31日までの間は「0.00002mg/L」以下である。

⑤基44の定義下限値は平成23年度まで 1/5、1/10の判断ができる。

⑥基48、基49の()及び最大値の数字は異常回数である。

⑦基46の基準値は平成20年3月31日までの間は「6mg/L」以下である。

⑧基3の基準値は平成21年3月31日までの間は「0.01mg/L」以下である。

番号	定期検査項目	基準値 (mg/L)	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	過去3年 最大値	過去 最大値	基準値との比較
			1/10 以下	1/5 以下	1/2 以下	1/2 以上	1/10 以上	1以上						
基1 一般細菌	100	5900	3100	2800	2600	3600	1000	3200	1500	2300	3100	6100	○ □	
基2 大腸菌	不検出	+	-	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	
基3 カドミウム及びその化合物	0.003	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○ □	
基4 水銀及びその化合物	0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	○ □	
基5 セレン及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○ □	
基6 鉛及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○ □	
基7 ヒ素及びその化合物	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○ □	
基8 六価クロム化合物	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○ □	
基9 亜硝酸態窒素	0.04							<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	○ □	
基10 シアン化合物イオン及び塩化シアン	0.01	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○ □	
基11 脱硝態窒素及び亜硝酸態窒素	10	0.06	0.08	0.13	0.12	0.14	0.08	0.11	0.09	0.08	0.11	0.14	○ □	
基12 フッ素及びその化合物	0.8	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	○ □	
基13 ホウ素及びその化合物	1	0.018	0.015	0.017	0.021	0.019	0.017	0.018	0.018	0.018	0.019	0.021	○ □	
基14 四塩化炭素	0.002	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○ □	
基15 1,4-ジオキサン	0.05	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○ □	
基16 シー-1-エタノラクトン及びトランス-1-オーピクロロエタレン	0.04	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	○ □	
基17 ジクロロメタン	0.02	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○ □	
基18 テトラクロロエチレン	0.01	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○ □	
基19 トリクロロエチレン	0.01	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○ □	
基20 ベンゼン	0.01	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	○ □	
基21 塩素酸	0.8													
基22 クロロ酢酸	0.02													
基23 クロロホルム	0.04													
基24 ジクロロ酢酸	0.09													
基25 ジブロモクロロメタン	0.1													
基26 奥系酸	0.01													
基27 硫化水素	0.1													
基28 トリクロロ酢酸	0.03													
基29 ブロモジクロロメタン	0.03													
基30 ブロモホルム	0.09													
基31 ホルムアルデヒド	0.08													
基32 ゼラチン及びその化合物	1	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	○ □	
基33 アルミニウム及びその化合物	0.2	0.034	0.033	0.022	0.028	0.031	0.043	0.027	0.170	0.026	0.170	0.170		
基34 鉄及びその化合物	0.3	0.08	0.08	0.08	0.05	0.15	0.05	0.05	0.16	0.03	0.18	0.16		
基35 銅及びその化合物	1	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	○ □	
基36 ナトリウム及びその化合物	200	18.8	18.8	19.2	18.7	18.7	19.4	20.5	17.6	12.8	20.5	20.5		
基37 マンガン及びその化合物	0.05	0.010	0.005	0.007	0.006	0.031	0.009	0.005	0.022	0.004	0.022	0.031	○ □	
基38 塩化物イオン	200	27.1	19.6	27.5	22.5	30.2	30.1	27.1	24.8	30.7	30.7	30.7	○ □	
基39 カルシウム、マグネシウム等(硬度)	300	24.7	24.4	28.0	21.4	23.2	21.0	24.2	23.6	21.2	24.2	26.0	○ □	
基40 草免残留物	500	95	98	124	86	108	97	107	105	101	107	124	○ □	
基41 落イオン界面活性剤	0.2	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	○ □	
基42 ジエオスミン	0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	○ □	
基43 2-メチルイソボルネオール	0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00001	<0.00002	<0.00002	<0.00002	<0.00002	○ □	
基44 非イオン界面活性剤	0.02	<0.005	<0.005	<0.005	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	○ □	
基45 フェノール類	0.005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	○ □	
基46 有機物(全有機炭素(TOC)の量)	5	0.7	0.8	1.3	1.5	2.2	0.5	0.8	0.9	0.7	0.9	2.2	○ □	
基47 pH値	5.8~8.6	7.6	7.9	7.2	7.4	7.3	7.2	8.3	7.5	8.5	8.5	8.2		
基48 鮎	異常でない	異常なし											○	○
基49 魚類	異常でない	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし		
基50 惣度	5	3.8	4.0	3.6	4.3	3.9	4.2	4.1	4.0	4.2	4.0	3.6		
基51 湿度	2	0.8	0.9	0.4	0.5	0.8	0.6	0.6	0.4	0.6	0.9	0.8	○	○
基52 色														
基53 溶り														
基54 用廻の換算塩濃度														
有機物等(送マンガン酸カルシウム消費量)	10													
浸食性遊離酸素														
遊離性遊離酸														

備考

①過去3年間とは平成27年度から平成29年度のこと、基準値との比較は○印で示す。

②過去とは平成21年度から平成29年度のこと、基準値との比較は□印で示す。

③基2の「大腸菌」とあるのは、平成15年度までは「大腸菌群」のことである。

④基42及び基43の基準値は平成19年3月31日までの間は「0.00002mg/L」以下である。

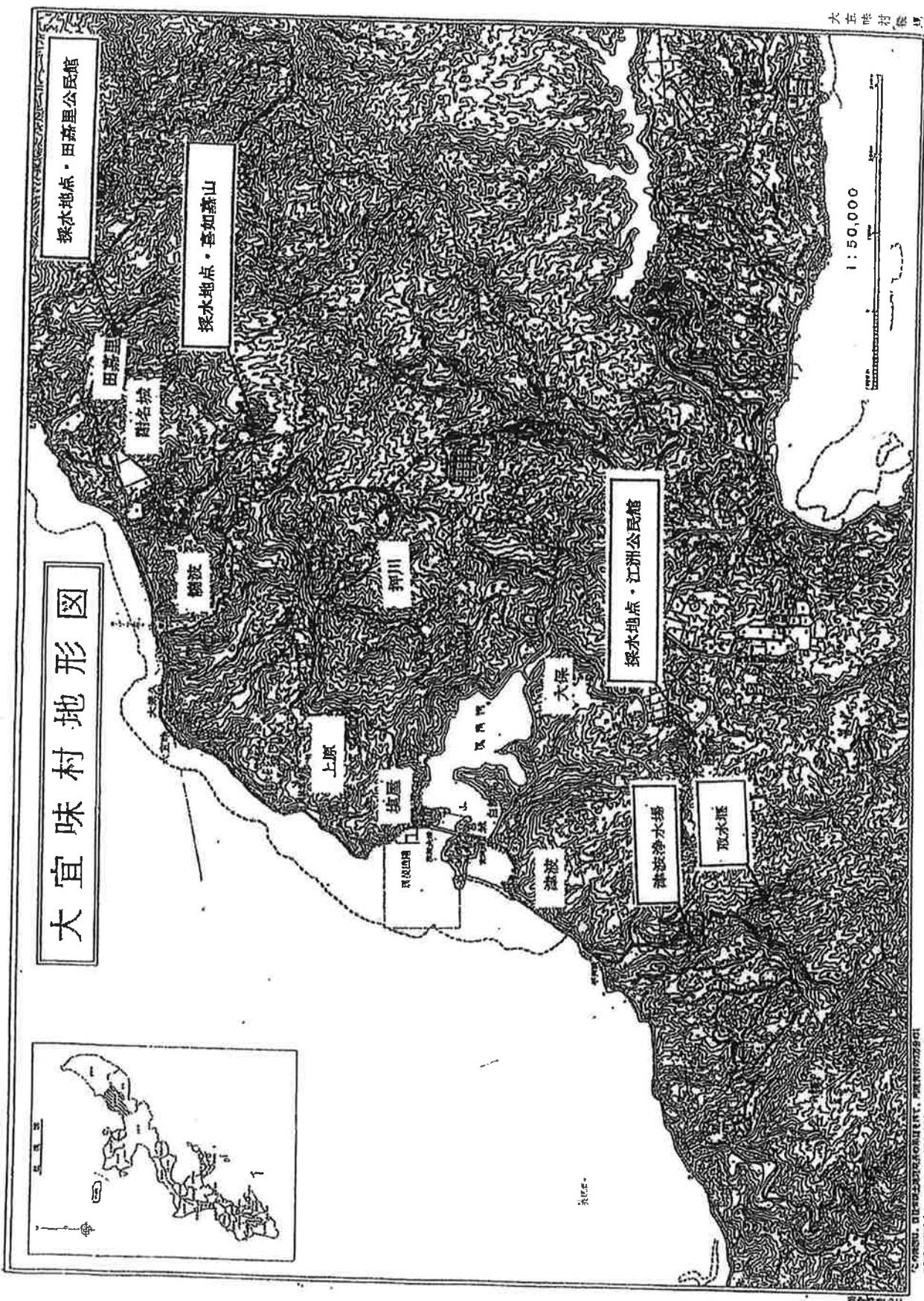
⑤基44の定量下限値は平成23年度まで 1/5, 1/10 の判断ができない。

⑥基48、基49の()及び最大値の数字は異常回数である。

⑦基46の基準値は平成20年3月31日までの間は「5mg/L」以下である。

⑧基3の基準値は平成21年3月31日までの間は「0.01mg/L」以下である。

大宜味村地形圖



水源地及び浄水場位置図

縮尺1:25,000

村境界線

算树

平南川支流取水権

川原

市
禁
名

19

大宜味村水道施設 配水フローチャート

